

# 高松第一高等学校 SSH課題研究 中間発表ルーブリック (数学分野用)

		不十分(1)	もう少し(2)	ほぼ十分(3)	十分(4)
①課題設定	研究目的 課題の 科学的把握・理解 (科学的な 意義ある探究)	研究目的が <b>述べられていない</b> 。  興味を持った事象(きっかけ)と今回の課題設定との関連性や課題解決の <b>意義がみられない</b> 。	研究目的は <b>述べられているが</b> 、  興味を持った事象(きっかけ)と今回の課題設定との関連性や課題解決の <b>意義が曖昧である</b> 。	研究目的や、  興味を持った事象(きっかけ)と今回の課題設定との関連性、課題解決の <b>意義が概ね示されている</b> 。	研究目的や、  興味を持った事象(きっかけ)と今回の課題設定との関連性、課題解決の <b>意義が明確に示されている</b> 。
	先行研究の調査 これまでの 研究結果の理解	研究課題について、これまでに分かっていることや、先行研究の調査が <b>できていない</b> 。	研究課題について、これまでに分かっていることや、先行研究の調査が <b>行えているが、曖昧な部分があり</b> 、  文献などの整理・提示が <b>不十分である</b> 。	研究課題について、これまでに分かっていることや、先行研究の調査が <b>行えている</b> 。  文献などの整理・提示が <b>適宜行うことができている</b> 。	研究課題について、これまでに分かっていることや、先行研究の調査が <b>行えている</b> 。  文献などの整理・提示が <b>適宜行うことができている</b> 。  さらに、 <b>文献などの内容を整理し、説明することができている</b> 。
②研究	研究の状況	研究・取り組みの方法や手順が <b>まとまっておらず</b> 、 全体像が <b>全く示されていない</b> 。	研究・取り組みの方法や手順は <b>示されているが、不十分な点がいくつか見られ</b> 、 全体像が <b>漠然としている</b> 。	研究・取り組みの方法や手順が <b>適切に述べられおり</b> 、 全体像が <b>はっきり示されている</b> 。	研究・取り組みの方法や手順が <b>適切に述べられおり</b> 、 全体像が <b>はっきり示されている</b> 。  さらに、 <b>より深い研究を行うための方針がみられる</b> 。
	研究内容の信頼性	データの取り扱いまたは考え方の根拠に関する記述が <b>示されていない</b> 。	データの取り扱いまたは考え方の根拠に関する記述が <b>示されているが、不十分な点が見られる</b> 。	データの取り扱いまたは考え方の根拠に関する記述が <b>正確に示されている</b> 。	データの取り扱いまたは考え方の根拠に関する記述が <b>正確に示されている</b> 。  さらに、 <b>より合理的に説明するための分析方法や説明方法などに工夫点もみられる</b> 。
③研究の 分析・表現	表現方法と分析	研究結果・過程を図表・グラフなどで <b>表わしていない</b> 。  結果・過程の理解も <b>見られない</b> 。	研究結果・過程を図表・グラフなどで <b>表しているが、不十分である</b> 。  結果・過程の理解が <b>不十分である</b> 。	研究結果・過程を図表・グラフなどで <b>明瞭に表現している</b> 。  結果・過程の理解が <b>十分になされている</b> 。	研究結果・過程を図表・グラフなどで <b>明瞭に表現している</b> 。  また結果・過程の理解が <b>十分になされており、発展性も見られる</b> 。
	④結果の 数学的見解	研究結果や過程を数学的法則や定理に基づいて <b>説明しておらず、経験や常識に繋げている</b> 。	研究結果や過程を数学的法則や定理に基づいて <b>説明しているが、不十分である</b> 。	研究結果や過程を数学的法則や定理に基づいて <b>説明している</b> 。	研究結果や過程を数学的法則や定理に基づいて <b>説明している</b> 。  さらに、その過程を <b>論理的にわかりやすく述べている</b> 。
⑤今後の 取り組み	具体的な今後の予定	今後(夏休み・冬休み・最終発表まで)の見通しや取り組みについて具体的な今後の計画を <b>立てていない</b> 。	今後(夏休み・冬休み・最終発表まで)の見通しや取り組みについて具体的な今後の計画を <b>立てているが、不十分な点が見られる</b> 。	今後(夏休み・冬休み・最終発表まで)の見通しや取り組みについて具体的な今後の計画を <b>立てている</b> 。	